



ジャスティス

JUSTICE

コンセプト

自らを変える!! 明日を創る!!
イースト イノベーション!!

ジェイアール・イーストユニオン

発行責任者 菅野一位
編集責任者 瀬戸信作〒105-0021
東京都港区東新橋2-8-28
TEL (J R) 057-7333
TEL (NTT) 03-6452-9687ホームページ検索
「J R E ユニオン」

ジェイアール・イーストユニオン

第4回中央委員会・開催

私たちこそが「改革時の精神」

「鉄道の責任」を継承して

イーストユニオン中央本部は2月9日、都内港勤労福祉会館において、第4回中央委員会を開催し、「安全の確立」「2018春季生活闘争勝利」「JR東日本の民主化と組織拡大」など当面の活動方針を決定した。中央委員会の議長は仙台地本の鈴木中央委員が就任した。

菅野・中央本部執行委員長



第4回中央委員会にご参集の委員そして傍聴者の皆さん、大変ご苦勞様です。

イースト運動に奮闘し、新潟地本では一つの大きな結果を出した。奮闘した組合員の皆さんに感謝します。

会社と東労組の間で協議された36協定について東労組の破棄条項を付けた協定締結要求に会社は一步も引かない姿勢が伝わっています。18春闘について、東労

組は、「ストライキ権」を背景にして闘うとの情報を聞いています。

次の30年、JR東日本の労使関係の正常化について、私たちこそが「改革時の精神」「鉄道の責任」を継承していこうと訴えた。また安全問題、18春闘、民主化闘争と組織拡大の3項目を最優先課題として本委員会での真摯な議論を要請した。

議長を務めた

鈴木・中央委員 (仙台)

本冬の豪雪、日夜ご奮



闘っている組合員に感謝致します。JR各社に於いて重大なインシデントが多数発生しています。安全を最優先する鉄道会社として看過できません。皆さんの活発なご意見をお願いします。

発言した中央委員

添田寿男 (仙台)
神田広栄 (新潟)
榎窪吉則 (営業部会)
高橋佳昌 (関東)
青田節雄 (仙台)
大和田義雄 (関東)

発言概要

(安全・技術継承問題)

・北陸地方での大寒波と記録的な大雪による災害にお見舞いを申し上げる。
信越本線では1月11日、444Mが17時間立ち往生し大変な迷惑を掛けました。運転士と車掌に対する同情の声もあつて問題

ご来賓の皆様

・交通共済東日本事業本部より松井事業本部長と橋本事業副本部長
・松田JREユニオン退職者の会 会長
・中山JR連合、組織政治部長
・川合孝典参議院議員

は収まったようだが、一番の問題は、指令も含めその判断の誤り、技術継承の問題だと考える。

・12月11日、のぞみ34号の台車亀裂事故は新幹線で初の「重大インシデント」となった。検修員が乗っていたのになぜ止められなかったのか。私たちなら止められたのか。東日本管内でも蕨変電所事故、宇都宮線碍子損傷事故、京浜東北線架線切断など重大な事故が発生している。JR他社においても死亡事故が発生した。技術力について問題があり、技術継承が上手く進んでいない。安全安定輸送は我が社の商品である。一度失った信頼を回復するには大変な労力が必要だ。安全が全てにおいて優先する。

(18春闘関係)

・18春闘について、当社の第3四半期決算も極めて好調である。経済も上向いているというが実感がない。納得できる結果を勝ち取ろう。東労組のような本部任せではいけない。組合員全体で春闘勝利へ向かって行こう。東労組のスト権確立については、これまでマ

チラシ配付を行う組合員
2/9早朝のチラシ配付、東京支社前と国会議事堂前



スコミや組合員に嘘をついていた。会社や社会を欺くこととなる。組合員を置き去りにする運動をするならば労使共同宣言を破棄すべきである。私たちはお客様にご迷惑をかけないという考え方は会社と同じである。

(業務関係)

・本体エルダーについて、新潟ではイーストユニオンの車掌が声を掛けられている。技術継承を含めて、業務の大切さを次世代に継承してほしい。
・本体エルダー制度により設備系の現場では指揮命令系統の問題が生じるのではない。
・営業職場では要員が逼



迫している。仙台駅出札の業託化問題についてさらに本部の対応をお願いする。

(組織関係)

・民主化闘争、組織拡大の取り組みは、見える運動を実践してきた。そのような中で新潟での組織拡大に敬意を表したい。後に続くようさらなる取り組みをはかっている。2014年5月に結成した我々組織の原点に立ち返り自分が何を出来るかを考え行動していこう。

・36協定をめぐるドタバタ劇があった。勤務作成を担当する者の不満が募っている。職場では旅行会が中止になった事象がある。破棄条項を会社は徹底して拒否し3か月締結となったが、その中身を若い組合員は理解してい

ない。

・一人でも多くの社員に私たちの考えを伝える取り組みが必要である。インターネットの活用は有効だ、ホームページは頻繁に更新してほしい。



総括答弁
国井・事務局長

東労組は36協定で破棄条項を迫ったが、そうはならなかった。誰がその責任を取ったのか。そういった運動は百害あって一利なしである。格差ベアについての申入れも、スト権を持ち出し、溝は深まるばかりである。

今朝、田端と国会議事堂前でチラシ配付を行った。各地本からとJR連合中山部長にも参加いただいた。私たちの挨拶に東京支社の社員と思われる方が丁寧に「おはようございます」とお辞儀をしてくださる。貴い靴に入れた職場に向かっていた。昨年とは随分雰囲気変わったと肌で感じた。36問題やスト権問題の中で

強靱な労使関係は揺らいでいる！

産経新聞2月12日の一面トップに「JR東労組、スト検討」と派手な文字が躍った。記事では、2月6日に行われた団体交渉で、JR東労組は組合員の「一律定額ベア」の将来にわたる実施などを要求し、会社側が否定的な見解を示したため、その場で「スト権行使を含めたあらゆる戦術行使に

社長名で

「社員の皆さんへ」

理解と協力を要請

必要な手続きに入る」と通告したというものである。

JR東労組は昨年春闘に向けた「全組合員によるスト権確立の意思確認の一票投票」で、82.3%の賛成を得たとしている。一年前のスト権確立の使いまわし？は如何と思うが、あなたの一票が、今回のストライキ権行使、検討の根拠になっているのは確かである。

ストは国鉄改革から支えていただいた利用者、国民への裏切り行為だ。

一方、会社は2月16日、富田社長名で「社員の皆さんへ」を掲示し、ベアのあり方について、会社としての見解を示すとともに、JR

東労組の求めている、「労使協議も経ずにしての一律定額ベア」という主張は到底認めることはできないと主張している。また、ストライキは会社発足以来、会社発展にご理解とご支援を賜ってきたお客さまに多大なご迷惑とご心配をおかけするものであり、組合によく理解を求めるべく、引き続き賃金のあり方にかかる議論を徹底的に行うとしている。

これまでになく会社の屈しない姿勢を表明したことにより、JR東労組内では動揺が広がっている。繰り返すが、JR東日本が今こうしているのは、多くのご支援があったからに他ならない。

良識ある皆さん

今こそ目を覚まして

あなたの一票が、今回のストライキ権行使、検討の根拠になっているのは確かだ。

ストライキの目的は
「格差ベア永久的根絶」？
産経新聞「JR東労組、スト検討」を報じる

2月12日(月)

東京No.1
オフィスビル
220棟超

住友不動産

JR東労組、スト検討

来月中旬か会社に通告

対立路線回帰？弱体化